

民主島根

2022年
11.6
第1415号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

中国5県一斉宣伝 統一地方選挙勝利へ 消費税減税、医療費負担増撤回を

松江 尾村・大国県議、市議団らが訴え

来春の統一地方選挙と次の国政選挙に必ず勝利しよう、中国地方5県の日本共産党は10月21日、地方議員らを先頭に各地でいっせいの宣伝に取り組みました。

松江市では、尾村利成、大国陽介の両県議、舟木健治、橘ふみ両市議らが宣伝しました。

岸田政権による「国葬」強行や自民党と統一協会の癒着、物価高騰に対する無為無策を批判し、「党をつくって100年、国民との共同で政治を変える日本共産党と一緒に、一人ひとりが大切にされる政治をつくりましょう」と呼びかけました。

尾村県議は、細田博之衆院議長(衆院島根1区)と統一協会の根深い関係にふれ、「統一協会は靈感商法や集団結婚などで多



宣伝する(右から)大国、尾村、舟木、橘の各氏ら (松江市)



食料品や日用品などを手に取る学生ら (松江市)

民青 奨学金の返済が不安...

松江市内で学生食料支援

くの人の人生を狂わせた反社会的集団だ。徹底究明に向け、引き続き全力を挙げます」と訴えましました。

物価高騰からくらしと

日本民主青年同盟島根県委員会は10月30日、松江市の島根県立大学から約500名離れた集会所で、食料支援「ハッピーフードプロジェクト」に取り組みました。県内では11回目の取り組みとなります。

松江市内では5回目の活動で、これまでは島根大学のキャンパス周辺で行なっていました。県立大学周辺での開催は今回が初めてです。

事前に会場周辺のアパートなどに案内ビラを配布し、SNSでも告知しました。

「SNS(インスタグラム)を見てきました」という学生もいました。

会場を訪れた学生は、食料や日用品を思い思いに手に取っていました。

学生生活実態アンケートにも取り組みました。

大学4年の女子学生(21)は「自分の好きなものを自由に取れるのがありがたい。来年度からは、社会人なので奨学金の返済が

不安です」と語りました。アンケートの回答の中には「食料品の値上がりで日常的な支出が増え



た」「一人暮らしなので、すごく助かりました。また企画していただけたらありがたいです」「バイト先が閉店になり、次のバイト先が見つかるか不安」などの声が寄せられました。

今後、出雲市内でも食料支援に取り組むことにしています。

赤旗囲碁・将棋県大会開く

囲碁・吉井氏、将棋・山内氏が全国大会へ

第57回しんぶん赤旗囲碁・将棋大会の島根県大会が10月23日に出雲市内で開かれ、囲碁8人、将棋12人の計20人が熱戦を繰り広げました。

囲碁は吉井秀浩さん(前回覇者)が、将棋は山内博文さん(前回覇者)が全国大会出場を決めました。

結果は次の通りです。(敬称略)

【囲碁】優勝 吉井秀浩 2位 山根敏幸、3位 二段俊司

【将棋】優勝 山内博文、2位 渡部哲大、3位 橋本剛

日本共産党演説会

12月18日(日)

- 10:00~ 松江テルサホール
- 14:00~ 出雲ロイヤルホテル 平安の間

弁士
党書記局長(参院議員)

小池 晃



いのちまもる
政治を今こそ

私たちもお話します



【松江会場】
県議会議員
尾村としなり



【出雲会場】
県議会議員
大国陽介

鼓動

へ白玉の齒にしみとほる
秋の夜の酒はしづかに飲
むべかりけれ 旅と酒を
愛した若山牧水の秀歌で

ある。晩秋の夜長に一人しみじみと飲む酒は格別だ。牧水は「酒は心の栄養となつて、乾いてゐた心はうるほひ、弱つてゐた心は蘇り、散らばつてゐた心は次第に一つに纏つて来る」と記している▼そんな酒を味わいたいのだが、禁酒して四年目の我が身はそれもできない。歳を取ると、何気ない他人の言動に心が傷つき、ずっと尾を引く。そんな時、酒は厭なことを忘れさせて心を癒してくれるはずだが、禁酒の今は、ナツメロをかきながら一人悶々と長い夜を過ごすことに▼働きたりの頃は、大酒飲み部類だった。「酒を辞めて体調がよくなった」と言ふと、身内からは「もう手遅れ」と厳しい。仕事で厭なことや落ち込んだ時に飲む酒は、深い酒となった。そして、酒で憂さを晴らす自分を責める、もう一人の自分に出会う▼作家の高橋源一郎氏は「私たちはみんな自分の中に、『もう一人の自分』を隠している。この『自分』は私のすべてを知っていて、その上で『愚か者、無能、にせ物、臆病者』と厳しく批判する。そして深く傷つく」と書いています。

♪酒よこころがあるならば 胸のなやみを消してくれ♪。まさに美空ひばりの「悲しい酒」の世界に迷い込むのだ▼「酒は心の栄養」と詠った牧水も晩年は酒に毒され、最期は酒が注射代りとなり、末期の水代りの酒で唇を浸されながら死去。43歳の若さだった。牧水の絶筆となつた壮絶な一首がある。へ酒ほしさまぎらはすとて庭に出でつ庭草をぬくこの庭草を

(吉)